



発行責任者

隠岐広域連合立

隠岐病院長

西郷町城北町355

初めまして こんにちは

院長就任のご挨拶



病院長

かさき 重人

しげと

この四月から院長として勤務しております笠木です。診療面では内科外来やドック・健診等を担当します。以後どうぞよろしくお願いします。

私が隠岐で働くのは今回が初めてでなく、実は三回目になります。一回目は昭和五十四年秋から翌年の春にかけて小児科の非常勤医として、二回目は平成八年から一年間西郷健康福祉センター所長として隠岐に参りました。

二十年前の隠岐病院を知る者として現在の隠岐病院を見たとき、時代の変化を痛感します。いくつか挙げますと、患者さんが増えたこと（外来は昔の二倍以上の患者さんが来院されています。夜間・休日の救急患者さんも随分増えていきます）、お医者さんが増えたこと（今は常勤医が十九名ですが昔は十名未満でした）、高度の医療機器が増えたこと（CT、MRI、内視鏡、超音波診断装置等々）、そ

残暑お見舞い申し上げます
ながらくおまたせしました
どげしちよったかの



してなによりも、二十年前は白亜のきれいな広々とした病院でしたが、現在はかなり手狭な窮屈な病院になっていることに驚きました。患者さんに不自由な思いをさせていただいており、つらい気持ちです。現病院は昭和五十一年に西町の木造二階建の建物から広い敷地を求めて郊外の現在地に移転新築したのですが、その当時には予想出来なかったほどの急激な病院機能の充実がその後必要となり、皆様方のお力と多くの先輩方の尽力で整備が進められた結果、病院の建物自体は小さくなるはずがないのに中身が豊富になったため、極端に手狭になってしまったというわけです。



今後さらに増えてくる医療ニーズに対応するためより一層の医療機能の充実を目的に、昨年の九月から隠岐病院は隠岐広域連合が経営することになりました。皆様方が隠岐で安心して暮らせるために、皆様のご協力をいただきますながら、隠岐病院をもっともっといい病院にしていきたいと考えております。診療の充実はもちろん、プライバシーへの配慮や、来院して心やすまる病院づくり、情報の公開、保健医療福祉の一体的提供等々、二十一世紀に向けて新しい時代に対応した患者さん本位の病院に発展するよう努力していきたいと思っております。そのためには地域の皆様方のご意見やご指導が必要です。くれぐれも、どうぞよろしくお願いします。

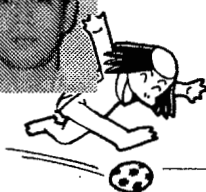


―新規採用者のご紹介―
今年度、院長先生をはじめ十七名の採用がありましたのでご紹介いたします

末次 浩
すえつひろし

（内科医師）

本年四月より隠岐病院の内科を担当します。今後ともよろしくお願いいたします。



今田 敏宏
いまだとしひろ

（内科医師）

こんにちは 都万診療所の高松先生と同期の今田です。えっ同期に見えないって？そんなに僕がデキルからって間違えてもらったら困ります。えっ声が芸能人に似てるって？あまり嬉しくありません。冗談はさておき、皆様よろしく願います。



酒井 浩光
さかいひろみつ

（内科医師）

本年四月より隠岐病院の内科を担当します。今後ともよろしく願います。



加藤 一朗
かとういちろう

（内科医師）

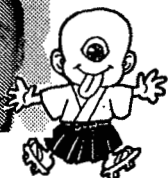
理学療法士さんのような白衣に真っ黒な顔して図体の大きいのが私です。隠岐へ来て、隠岐の人々の温かさに触れ少し太りました。もうすぐ百キロです。毎朝、息子と一緒に散歩をしているとよく声をかけてもらいます。朝の散歩は、身体のみならず、心の健康にも大切ではないかと隠岐へ来て思うようになりました。今後ともよろしく願います。



瓦谷 久志
かわらだひさし

（精神科医師）

四月より県立湖陵病院より赴任してまいりました精神科の医者です。一見してわかる特徴は丸坊主だということですが、（丸坊主の医者は二人いますが、背の低い方が私です。）月に二回家で家内にバリカンで散髪して貰っていますので隠岐の経済に貢献しております。釣り道具を一式そろえましたので楽しみにしています。



山田 武史
やまだたけし

（精神科医師）

精神科医師の山田と申します。銘酒「隠岐誉」もさることながら、この隠岐独特の雰囲気、誘われ時に気持ちよくお酒など愉しませていただいております。若さ溢れる健康体にて診療に当たらせていただいております。隠岐の皆様、よろしく願います。



勝部 顕一
かつべけんいち

（整形外科医師）

四月から整形外科に赴任しました勝部です。昭和四十四年生まれ、松江の出身です。妻と息子の三人で隠岐にきて約四ヶ月、仕事が終わった後のビールを楽しみにしています。（すぐに寝てしましますが）私を見かけましたらどんだん声をかけてください。よろしく願います。



八木 宏
やぎひろし

（泌尿器科医師）

四月から隠岐に赴任し約三ヶ月が過ぎました。初めは慣れない単身赴任のため少し痩せましたが、美味しい魚などをたくさん食べるようになって最近肥満が気になっています。毎日、患者さんの食生活を注意しているのに自分の管理ができなければ。と考えている今日この頃です。



佐伯 有祐
さえきゆうすけ

（眼科医師）

四月より眼科に赴任してきました佐伯と申します。生まれ故郷の山口県萩市にどことなく似たたずまいを見せる隠岐に早くも愛着を感じております。子供の視力が心配、最近目が疲れる、孫に本を読んであげたいなど、目に関することでしたら少しでも力になれるよう努力しますのでよろしく願います。



たかむらともひで
高村 知秀
(理学療法士)

五月より採用となりました。諸先輩方を見本として、謙虚な姿勢でリハビリテーションを行っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



本人とイラストのキャラクターには一切関連はありません。さあ、あなたの後ろに「さあ、あなたの後ろに」

さとうまこと
佐藤 誠
(調理員)

四月より調理員として採用されました。不慣れな仕事で戸惑いの毎日ですが、一日も早く一人前になれるよう頑張りたいと思います。皆様よろしくお願いいたします。



ふるかわみね
片 みね
(助産婦)

四月から助産婦として二階病棟で勤務しています。結婚・出産・子育てで、長いブランクもあります。が、三十歳の再出発で一生懸命頑張っているところです。皆さんに迷惑をかけないよう、より良い看護ができるよう努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



さかもとやよい
坂本 弥生
(看護婦)

四月から三階内科病棟にてお世話になっております坂本です。大阪での五年間、看護婦になるための勉強をしてきました。そこでの生活の中で隠岐の事を忘れることができず、生まれ故郷の医療の役に立てればと思います。隠岐病院に勤めることにしました。まだまだ未熟な私ですが精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



むらかみちえこ
村上智恵子
(看護婦)

はじめまして。今年採用になりました。村上智恵子です。現在は、出雲の島根県立中央病院の脳神経総合病棟で研修させていただいております。一年間という短い期間ではありますが、中央病院で学んだことを帰って生かせるように頑張りたいと思います。来春皆様にお会いできる日を楽しみにしております。



まえださゆり
前田小百合
(看護婦)

はじめまして。今年度看護婦として採用になりました前田です。今年三月に出雲の看護短大を卒業いたしました。今、私は島根県立中央病院の七階病棟にて研修をしています。まだまだ、皆さんにはお会いできませんが、一年後に隠岐病院へ帰ってきますので、よろしくお願いいたします。



ひのようこ
日野 陽子
(看護婦)

この春、隠岐病院に採用となり、現在は島根県立中央病院の一〇階病棟で研修をしている日野です。一年間という研修期間を与えていただき、今はその貴重な時間に沢山のことを学びました。確実な技術・知識を身につけて隠岐へ帰れるようにと、一生懸命頑張っています。一年後、皆さんにお会いする時には、研修の成果が発揮できるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。



↑↑この三名の新規採用者は、より多くの知識と経験を積むため、今年度隠岐病院がはじめて行った「卒後看護婦研修制度」により四月から一年の間、島根県立中央病院において卒後研修をしている看護婦です。皆さんにお会いするのは、平成十三年四月の予定ですので、よろしくお願いいたします。↑↑

おわび



休刊中は、「まめなかのは無くなったの?」「楽しみにして

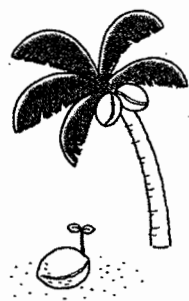
いるのに」「毎月来るものが来ないとなんか寂しいね」等々、皆様からの叱咤激励のお言葉をいただき、大変うれしく思うと同時に、その反響の大きさを知り、身の引き締まる思いでした。日々変化していく医療界、看護界の情報、隠岐病院の情報など、皆様にお伝えしなければならぬ事が次々とでてくる中、それを伝える手段としての「まめなかの」の重要性を、自分たちで再認識するとともに、皆様のご期待に添えるような誌面にしていきたいと改めて思います。



異

—八月まで—

- * 笠木 重人 (病院長)
 * 末次 浩 (内科医長)
 * 今田 敏宏 (内科医長)
 * 加藤 一朗 (内科医長)
 * 酒井 浩光 (内科医長)
 * 瓦谷 久志 (精神科医長)
 * 山田 武史 (精神科医員)
 * 勝部 顕一 (整形外科医長)
 * 八木 宏 (泌尿器科医長)
 * 佐伯 有祐 (眼科医長)
 * 古川 みね (助産婦)
 * 佐藤 誠 (調理員)
 * 坂本 弥生 (看護婦)
 * 村上智恵子 (看護婦)
 * 前田小百合 (看護婦)
 * 日野 陽子 (看護婦)
 * 高村 知秀 (理学療法士)
 * 仲山 佳栄 (臨時看護婦)
 * 斉藤 春子 (臨時准看護婦)
 * 桜谷 光一 (臨時調理員)
 * 田中美智代 (臨時調理員)
 * 楽阿弥貴子 (臨時調理員)
 * 常角こずえ (臨時事務員)
 * 鳥海佳代子 (臨時小児科医)



動

職

—七月まで—

- *大田 宣弘(病院長)
― 県立中央病院へ
- *濱橋 孝寿(眼科部長)
― 倉吉厚生年金病院へ
- *串山 義則(内科医長)
― 淀川キリスト教 病院へ
- *安野 広三(内科医長)
― 邑智病院へ
- *高松 徹 (内科医長)
― 都万診療所へ
- *嶋田 宏 (精神科医長)
― 雲南総合病院へ
- *林 芳成 (精神科医長)
― 国立鳥取病院へ
- *松崎 雅彦(整形外科医長)
― 島根医科大学へ
- *角 昌晃 (泌尿器科医長)
― 島根医科大学へ
- *新宮 カタ(准看護婦)
― 由起(臨時薬剤師)
- *安野 千枝(臨時准看護婦)
― 佐々木由美子(臨時調理員)
- *中上 静香(臨時調理員)
― 平田 洋子(臨時調理員)
- *大野 愛子(臨時事務員)
― 横山 臨時事務員)



あとかき



暑さが厳しい中にも、夜などは時々涼しい風が吹くようになってたこの頃。夏バテなどせずまめにされておりますでしょうか。▼突然私事ですが、愚息の通う保育所のお便りが、最近カラーになりました。パソコンを駆使し、作る方の苦勞が偲ばれる様な、なかなかの出来栄です。中には写真も入っていて、子供たちや保育士の方の微笑ましい表情と共に、その場の雰囲気も伝わってきそうなそんな感じですよ。▼文字で人に物事を伝えるのは、なかなか難しいものです。しかし、伝えるべき事実だけでなく、先のお便りのように雰囲気までもお届けできるように、そんな「まめなかの」になれたらいいな。と、この度思いを新たにしました。

「てにをは」が苦手な M

[illegible]

西郷町城北町三五五

宛々

E-mail

okihosp@mx.miracle.ne.jp